

議会から こんにちは

2021 **11.1**
令和3年



10月1日からイオンモール佐野新都市に佐野市のデジタルサイネージが設置されました。中央のモニターで佐野市の紹介動画を放映し、向かって右のモニターは市内事業者の広告、向かって左のモニターは市からのお知らせを放映しています。

令和3年9月定例会

- 令和2年度決算を認定
- 決算審査特別委員会で延べ31人が質疑
- 一般質問に23人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。➡



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索

令和
2年度

一般会計決算、特別会計決算、 企業会計決算を認定

決算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンでご覧になれます!)



副委員長
早川 貴光



委員長
田所 良夫

佐野市議会 議会中継
(令和3年)

「令和3年第5回(9月)定例会・
常任委員会・決算審査特別委員会」
からご覧ください。



9月定例会には、令和2年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月16日、17日、21日の3日間にわたり審査を行いました。特別委員会では、一般会計決算に18名、特別会計決算及び企業会計決算に13名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全7件の決算議案を認定しました。(議決結果は4ページをご覧ください。)

令和2年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額	
一般会計	742億7,215万円	681億6,068万円	644億5,290万円	37億778万円	
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	125億4,988万円	121億5,327万円	118億5,984万円	2億9,343万円
	国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	3億25万円	2億5,993万円	2億5,993万円	0円
	介護保険事業(保険事業勘定)	115億539万円	113億8,085万円	112億7,265万円	1億820万円
	後期高齢者医療	14億3,762万円	14億1,838万円	14億1,668万円	170万円
	小計	257億9,314万円	252億1,243万円	248億910万円	4億333万円
合計	1,000億6,529万円	933億7,311万円	892億6,200万円	41億1,111万円	

(注)各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●企業会計

(1万円未満四捨五入)

区分	水道事業会計		下水道事業会計		
	予算額	決算額	予算額	決算額	
収益的収支	収入	23億6,620万円	23億7,928万円	43億6,935万円	44億7,788万円
	支出	22億295万円	20億5,031万円	39億9,515万円	38億3,620万円
資本的収支	収入	6億5,456万円	5億7,951万円	18億3,405万円	12億3,790万円
	支出	18億8,032万円	14億4,288万円	31億6,597万円	24億7,466万円
特例的収支	収入	—	—	1億6,167万円	1億6,167万円
	支出	—	—	1億7,227万円	1億7,227万円

令和2年度決算審査要望書

(新型コロナウイルス感染症の影響下における計画策定の推進)

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大というパンデミックの中、予定していた事業が次々と中止になった。この結果を十分に総括し、withコロナ時代に適応した、健全で、かつ規律ある財政運営に努められたい。

また、現在策定が進められている第2次佐野市総合計画中期基本計画においては、市民が本市の将来に夢と希望を持ち、魅力あるまちづくりに取り組んでいけるよう、「選ばれる佐野市」「進化する佐野市」の実現を目指した計画策定に取り組まされたい。

(防災・減災の強化加速)

- 2 令和元年東日本台風の被災による復旧・復興の事業が現在進行中であるが、今後も関係各所と密接に連携を取りながら、復旧・復興事業を一刻も早く進められたい。

また、昨今の気候変動などにより激甚化する災害への備えを強化し加速させるために、河川の流域治水事業、予防保全型のインフラ老朽化対策、デジタル技術の活用などの推進等に取り組まされたい。

令和元年東日本台風の被害状況を踏まえて、公共インフラ整備の計画的かつ迅速な実施に努められたい。特に、普通河川を含む河川の整備・改修・改良事業の更なる推進、栃木県への河川内堆積土砂の除去要請及び市道の改良と維持補修強化に努められたい。

(新型コロナウイルス感染症対策)

- 3 市民を守るために、本市においても新型コロナウイルス感染症予防としての「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を講じてきたが、クラスターや家庭内感染等が増加傾向にある。医療崩壊をさせないためにも「三つの密」を避け、収束に向けて関係する医療機関等と十分な連携協力を図りながら市民の安心安全に努められたい。加えて、アフターコロナに向けて万全を図られたい。

(新型コロナウイルス感染症により影響を受けた地域経済及び雇用の支援)

- 4 新型コロナウイルス感染症の拡大により外出自粛が求められ、経済に大きな影響が出ている。個人消費が落ち込むだけでなく、企業間取引にも影響が出ており、製造業やサービス業等といった地域経済を身近で支える業種に影響が大きく、雇用にも大きな影響が出ている。

緊急事態宣言解除後の経済支援策として、多くの市民の消費を喚起するのはもちろんのこと、直接的な支援を受けにくい事業者の売上回復の後押しとなる支援策を講じる必要がある。プレミアム付商品券やキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン等の支援策を地域経済にとってより幅広い業種で効果的に活用することや、企業間取引の拡大を見込む販路拡大支援など、地元企業や商店等の実状に合わせた支援に努められたい。また、雇用の安定・創出として、創業支援や企業誘致、国道50号沿線開発を積極的に推進されたい。

(本市で就職し住み続けられる環境づくり)

- 5 超高齢社会に当たり、本市の人口減少に対し早急に対策を講じる必要がある。本市で就職し住み続けられる環境づくりの一つとして、コロナ禍の産業、社会変容を捉えながら、多くの企業が本市に進出できる産業用地の創出が重要である。そのため、(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの開設とともに、出流原PA周辺の総合物流開発整備を積極的に推進されたい。

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件名	議決結果	
一般会計			
議案第69号	令和2年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
特別会計			
議案第70号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第71号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第72号	令和2年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第73号	令和2年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
企業会計			
議案第74号	令和2年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員
議案第75号	令和2年度佐野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件名	賛	反	議員名 [議席番号順]																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
議案第69号	令和2年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和2年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和2年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対

※山菅直己議長は採決に加わりません。

※山菅直己議員は議長のため、横田誠議員は副議長のため、田所良夫議員は決算審査特別委員会委員長のため、早川貴光議員は決算審査特別委員会副委員長のため、鈴木靖宏議員は議会運営委員会委員長のため、川嶋嘉一議員は議員選出の監査委員のため、質疑を控えました。

決算審査特別委員会質疑者一覧

○ 一般会計			
発言順序	氏名	発言順序	氏名
1	穂原政夫	10	澤田裕之
2	金子保利	11	小倉健一
3	鶴見義明	12	慶野常夫
4	木村久雄	13	小暮博志
5	小森隆一	14	菅原達
6	久保貴洋	15	横井帝之
7	神宮次秀樹	16	春山敏明
8	滝田洋子	17	飯田昌弘
9	高橋功	18	長浜成仁

○ 特別会計、企業会計			
発言順序	氏名	発言順序	氏名
1	小森隆一	8	菅原達
2	澤田裕之	9	金子保利
3	滝田洋子	10	横井帝之
4	春山敏明	11	鶴見義明
5	小暮博志	12	木村久雄
6	久保貴洋	13	小倉健一
7	飯田昌弘		



長浜 成仁 議員(政友みらい)
第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

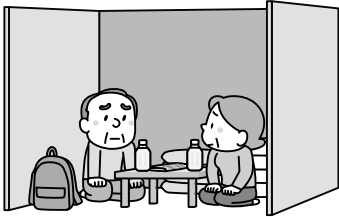


Q 昨今の激甚化する自然災害への対策は欠かせない。中山間地域の防災・減災対策に関する本市の課題と今後の取組について伺いたい。

A 行政経営部長

中山間地域の防災・減災対策に関する課題としては、災害発生初動期における情報通信手段の確保、孤立集落に対する救助、避難物資供給、高齢者等の避難生活、土砂災害への対応などがあります。特に高齢者等の避難生活に係る具体的な対応については、軟らかく温かい食事を提供することができる備蓄食の検討、災害協定に基づき公的宿泊施設、旅館等への一時避難が可能となるスキームの検討、ストレスによる精神的ケア体制の構築など、安心して避難していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問
☆中心市街地の活性化について



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)
佐野市のスマートシティ構想について



Q 4月の市長選挙において、市長が公約に掲げたスマートシティの導入研究に向けた市長の考えと、将来ビジョンについて伺いたい。

A 市長

現在、佐野市が進めているスマートシティ構想においては、市民の皆様が安心して健康増進、市民主導型の効率的な行政運営の推進を柱としており、ビッグデータやデジタル先端技術の活用により、昨今の新型ウイルスや人口減少問題、それに伴う地域間格差や世代間格差、災害リスクなどの解消を図っていきたいと考えています。

また、現在策定作業を進めている総合計画中期基本計画にも、具体的な事業をしっかりと位置づけることで、進化する佐野市、選ばれる佐野市の実現につなげていきたいと考えています。



▲ 市役所に設置された非接触型対応システム



春山 敏明 議員(新風)
公共交通空白地域解消とフルーツ吾妻線について



Q 佐野市地域公共交通再編実施計画では、デマンド交通の実証運行の実施に当たり、利用状況を把握し、見直しや利用促進に取り組むため、見直し基準及びフローを示している。見直し基準の設定や見直し実施フローについて伺いたい。

A 市民生活部長

デマンド交通の効率的な運行を図るため、見直し基準として稼働率が50%以上稼働した便の平均利用人数が2人以上としており、基準値を満たさない場合は運行区域や運行日数等の見直しを検討することとしています。令和2年度のフルーツ吾妻線では、稼働率が21.4%、稼働した便の平均利用人数は141人でした。こうした状況や、隣接する植野地区の一部が公共交通空白地域であることを踏まえ、フルーツ吾妻線の運行区域を植野地区の一部まで拡大した運行ができないか検討を進めています。

その他の質問
☆市内に潜在する交通危険箇所から子どもを守る対策強化について



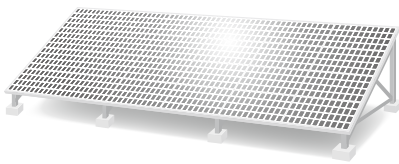
木村 久雄 議員(公明党議員会)
災害対策について



Q 土砂災害警戒区域内における太陽光発電設備の設置について、本市では佐野市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和条例の施行後も太陽光発電設備の設置が多くなされている。その中には、土砂災害警戒区域内における設置も見受けられる。このような設置は土砂災害の発生リスクを高め、市民の安全を脅かす、災害対策上の懸案になり得ると考えるが、どのように考えるか。

A 市長

条例では、土砂災害が発生しないよう許可基準を定めており、災害対策上の対応が図られているものと考えています。しかしながら、時間の経過とともに表土が降雨などにより流出することとも考えられるため、事業者には事業区域を適正に維持管理するよう適切な対応を求めていきたいと考えています。



早川 貴光 議員
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について



Q IT等を活用した感染症対策事業から得た知見によって考えられる今後の効果的な事業の展開について伺いたい。

A 総合政策部長

ITを活用した感染症対策事業としては、「情報技術活用公共的空間安心安全確保事業」として、庁舎に1秒程度で瞬時に測定が可能なウオークスルー測定顔認証型サーモグラフィシステムを設置しました。

顔認証型サーモグラフィシステムについては、オンライン上で遠隔操作ができる画像認識システムである機能特性を生かし、避難所における発熱者の即時対応はもとより、リアルタイムで避難所の密集状況を災害対策本部や市民と共有できるシステムとしての活用に向けて、今年度植野地区と多田地区で実証実験を行う予定です。

その他の質問

☆災害時の指定避難所の設備の状況及び避難方法について



顔認証型サーモグラフィシステム



横井 帝之 議員(新風)
医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の対応について



Q 令和3年6月18日に、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が公布され、9月18日から施行となる。これは、管内区市町村、教育委員会、関係団体等にその周知徹底を図るとともに、必要な指導、助言または援助を行い、地域ぐるみで支援していくものである。今後の教育を行う体制の拡充について伺いたい。

A 教育長

まずは文部科学省が作成した手引を基に、本市の医療的ケアのガイドラインの見直しを行います。また、佐野市自立支援協議会を始め関係各課と連携を図り、医療的ケア児の実態把握を進めていきます。あわせて、学校で医療行為を行うことのできる人材の確保を引き続き図っていきたいと考えています。その上で、実態に応じた配置を検討していきたいと思えます。

その他の質問

☆地域経済支援対策について





小倉 健一 議員(志翔会)

新型コロナウイルス
感染症自宅療養者
への支援について



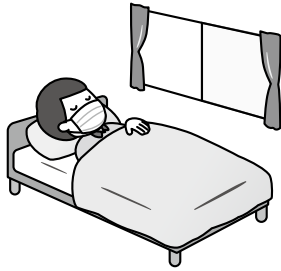
Q 自宅療養者へのさらなる支援についてどのように考えるか伺いたい。

A 健康医療部長

栃木県から、本市の自宅療養者を特定できる情報がない中で、本人からの申出があつて初めて市が感染者を把握することができ、その後ご本人との聞き取りの中で、必要な市の支援が提供できません。8月に入ると自宅療養者数も増加し、本市の状況が把握できないため、8月13日、市長が副知事に感染者の詳しい状況の提供について要望したという経緯があります。さらなる支援については、感染状況も変化しているので、本市にできる支援について県と情報交換を行い、自宅療養者の要望に応えられるように努めていきます。

その他の質問

☆コロナ禍における災害対策について



高橋 功 議員(倉生会)

「公共建築物等における
木材の利用の促進に関
する法律の改正について



Q 法律名が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に変わるが、ゼロカーボンシティの宣言を目指す佐野市として、木材利用促進についての記述を総合計画に盛り込むべきと思うが、考え方について伺いたい。

A 市長

木材の利用の促進は、森林資源の循環利用を進める上で必要なことの一つであり、林業の活性化の面からも重要であると考えています。第2次佐野市総合計画前期基本計画においては、佐野市内の公共建築物における木材の利用促進に関する方針に基づき、県産木材の利用を促進する旨を盛り込んでいましたが、現在策定中の中期基本計画においても、市産木材の利用促進を含め、林業の活性化の観点から引き続き位置づけをし、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

☆ウッドショックによる本市への影響について
☆ヤマビル被害防止について



鈴木 靖宏 議員(倉生会)

公共工事について



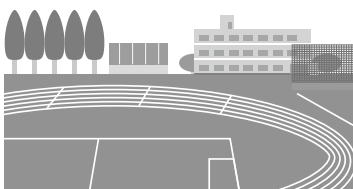
Q 令和元年10月台風第19号に伴う第2仮置場復旧工事(中運動公園における工事)について、工事完了後、再び作業を行った経緯と、重大事故があつた現場で、手抜きとも思われる工事があつたということについて、管理者、また発注者としての市の責任を伺いたい。

A 市民生活部長

工事完成により、令和3年1月21日に引渡しとなり、その後本施設の指定管理者が管理を行う中で、グラウンド内や表土の下から石が多く見受けられるとの指摘があつたため、受注者と協議し、より安全な施設利用を図るために作業を実施することとなりました。重大事故が発生した現場で、特に注意しながら監督しなくてはならない中で、不手際があつたのではないかと思っています。

その他の質問

☆農業者支援策について





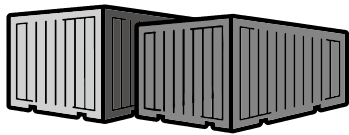
田所 良夫 議員(新風)
出流原P A周辺
総合物流開発整備
について



Q 出流原P A周辺総合物流開発整備の
推進に向け、市議会より平成29年度
予算審査要望書を始め、今日までおよそ
7回の要望書が提出されていると思う。
どのように感じ、受け止め、対応してい
こうと考えているか。

A 市長

積極的に産業団地を整備し良質な雇
用先を確保することで、若年層の市外へ
の流出を防ぐとともに企業の誘致を図り、
本市の稼ぐ力を増大させることで、本市
の持続的な発展が期待され、ひいては市
民サービスの向上につながると考えてい
ます。市議会からの予算審査並びに決算
審査要望においても、出
流原P A周辺総合物流開
発整備推進事業の早期整
備について要望をいただ
いています。本市の将来
のために産業団地の整備
を行い、企業誘致を図る
必要があるという市議会
からの強い要望であると、
重く受け止めています。



神宮次秀樹 議員(政友みらい)
有害鳥獣被害の
現状と今後の対策
について



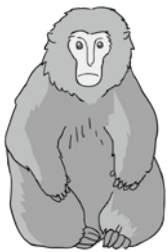
Q 猿による被害が5年ほど前から増え、
地域で切望していた大型の捕獲わな
が、昨年の12月によく設置された。
1か月ほど餌付けをしてから捕獲をした
ところ、画期的な成果を上げることがで
きた。これらの猿用の大型捕獲わなの運
用方法について伺いたい。

A 産業文化部長

現在、ICTを活用し遠隔操作によ
りわなの状況を把握した上で捕獲するこ
とができる大型捕獲わなを作原町と飛駒
町に各1基、天井から侵入した猿を捕獲
する囲いわなを水木町と閑馬町に各1基
設置しています。いずれの大型わなも解
体し移設することが可能であることから、
被害の状況や設置したわなの捕獲頭数、
また群れの状況などを考慮した上で、移設
及び増設を行っていきます。

その他の質問

☆閉校となった学校の
管理方法について



菅原 達 議員(公明党議員会)
誰もが幸福を感じ
られる政策の推進に
について



Q 行政主導で、希望する全ての方が参加
できる地域コミュニティーの場として
(仮称)だれでも食堂を提供することは、
弱者を救済する制度から、弱者を生まない
社会への転換を目指す取組であり、できる
限り全ての市民に対し、同様のサービス
が提供できることが望まれ、まずは行政
の施策の柱として位置づけられる必要が
あると考える。具体的には、佐野市地域
福祉計画の中に、(仮称)だれでも食堂を、
困っている人をつくらないための居場所
づくりや、予防としての地域づくりを実現
する役割を有するものとして、明確に位
置づける必要があると考えるがいかがか。

A こども福祉部長

議員ご指摘の件
については、次期計画
を策定する中で考えて
いきたいと思えます。

その他の質問

☆危機的状況下で行
政に求められる理念
と役割について
☆理念に基づく財政の
あり方について





澤田 裕之 議員(倉生会)
佐野市における
※SDGsへの取り
組みについて



Q これからの将来、人口減少、高齢化を
始めとして、自治体は取り組むべき
多くの問題を抱えている。これらの課題を
解決するための新たな方法として、今、
SDGs、いわゆる持続可能な開発目標の
利用が提案されている。佐野市における
SDGsへの取組、注力分野について伺いたい。

A 市長

本市では、第2次総合計画中期基本計
画に位置づけるため、現在、各施策と17の
ゴールの関連づけを行っています。

現在、新型コロナウイルス感染症への対応
と、令和元年東日本台風からの復旧・復興を最
優先に取り組んでいます。このような状況に
おいては、健康長寿の達成
及び持続可能で強靱な
国土と質の高いインフラ
の整備の2つが、注力すべ
き分野になるものと考え
ています。

その他の質問

☆太陽光発電設備について
☆令和3年度浄化槽設置の
補助金について

※SDGsとは・・・

Sustainable Development
Goalsの略。2030年までに
持続可能でより良い世界を
目指す国際目標。



久保 貴洋 議員(倉生会)
学校跡地等の活用
について



Q 閉校となった学校跡地の民間等施設
としての活用の進捗状況について伺
いたい。

A 市長

令和2年8月に策定した個別活用方
針に基づき、活用に向けて地元町会への
説明、民間事業者への対応を行っていま
したが、市としてのそれぞれの学校の利
活用の考えなどがまとまりましたので、
8月に民間活用型閉校跡地活用事業公募
型プロポーザルとして進めていく方針を
固めたところです。今後は、プロポーザ
ルの募集要項を確定させ、今年度中に利
活用の条件が整った学校からプロポーザ
ルによる募集をかけていきたいと考えて
います。この事業については、地域の活
性化や市有財産の有効活用につながる大
変重要な事業だと考えて
いますので、市としても
積極的に進めていきます。

その他の質問

☆通学路の安全対策
について



Q 佐野市下水道事業経営戦略における
雨水整備計画として計画されていない
地域でも※内水氾濫が発生するおそれがあ
ると考えるが、対策について具体的な考
えを伺いたい。

A 上下水道局長

計画されていない地域における最近
のゲリラ豪雨などの発生状況を鑑みま
すと、被害が発生する可能性があるもの
と考えており、浸水箇所の状況などを確認
しながら関係部局と連携していきたいと
考えています。

また、道路が冠水しないように対応する
ために、断面の大きな側溝を流末から整備
する必要もあり、流末の施設との調整や排
水区域全体での検討
も必要となります。
冠水が発生している
場所により、それだけ
原因が異なるので、
まずは現地調査を実
施していきたいと考
えています。

※内水氾濫とは・・・

市街地に排水能力を 超
える多量の雨が降り、
土地や建物が浸水す
ること。



小森 隆一 議員(公明党議員会)
誰ひとり取り残さない
弱者を守る災害対策
について





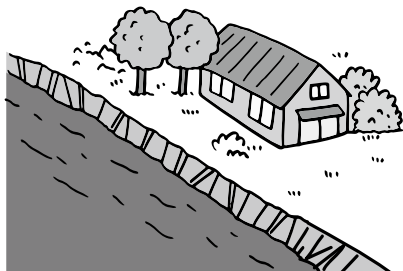
飯田 昌弘 議員(倉生会)
市民の安全・安心な
日常生活の確保に
ついで



Q 水害対策について、県が管理する河川だけでなく、佐野市管理の普通河川でも災害が発生している。河川の現状を把握し、個々の整備計画を作成し、現状に合わせた整備を実施するべきと考えるが、どのように考えるか伺いたい。

A 都市建設部長

普通河川については、市内全域に相当数あり、個々の河川整備計画は作成していない状況です。ほとんどの普通河川が未整備となっておりますが、防災上の観点から緊急に整備を必要とする普通河川については、令和3年度から令和7年度までの期間に緊急自然災害防止対策事業計画を策定して、普通河川の改良などを実施していきます。



滝田 洋子 議員(日本共産党議員団)
重度心身障がい者
医療費の窓口無料
化についで



Q 現在、佐野市において重度心身障がい者医療費は償還払いになっているが、障がい者本人やその家族が安心して受診できるように、本市でも窓口無料化を実施すべきと考える。

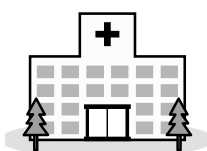
現物給付を実施すると、県の補助率が現在の2分の1から4分の1に引き下げられてしまうが、この引下げの措置の撤廃を働きかけることを佐野市から県に行うことはできないか伺いたい。

A こども福祉部長

本市においては、県議会議員との市政に関する懇談会での要望書や栃木県への要望書において、重度心身障がい者医療費助成制度における現物給付化に対する補助金の補助率引下げの措置の廃止について要望しています。今後も継続的に要望を行っていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆高齢者用補聴器購入費用助成について
- ☆視覚障がい者へ発送される郵便封筒について
- ☆特別障害者手当について



金子 保利 議員(志翔会)
市長の市政運営に
ついで



Q 市長は選挙中に副市長を1人にする
と明言していたが、市民に対する
その約束をいつ実行するのか伺いたい。

A 市長

現在、私ばかりでなく、両副市長も、職員も一体となって最大の課題である新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組んでいます。また、令和元年東日本台風からの早期復旧・復興、そして第2次総合計画前期基本計画の推進及び中期基本計画の策定のほか、中長期的に解決をしなければならぬ多くの重要施策が現在あります。それらを進行する中で、融和を図りながら市政運営に取り組んでいくため、当面の間は現状の2人の副市長体制で対応していききたいと考えています。





鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
新型コロナウイルス
感染対策について



Q 新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、高齢者の接種率が非常に高まってきた影響を反映しているのか、最近の傾向として若い方の感染者が増えている。幅広い検査の重要性が高まっていると考えられる。6月定例会の一般質問でも検査の拡大を要求したように、無料のPCR等の検査の対象者を、65歳以上等といった現在の対象者以外にも拡大することが必要であると思うが、どのように考えるか伺いたい。

A 健康医療部長

現在の感染状況を見ると、重症化するリスクは高齢者等に限られていないので、今後、検査対象者や回数制限を見直し、ていく必要があると考えています。



種原 政夫 議員(政友みらい)
通学路の安全対策
について



Q 児童たちの登下校時の事故が全国で後を絶たない。児童生徒の通学路の安全対策について、どのようなことを行ったのか、実績を伺いたい。

A 市長

通学路の安全対策は、佐野市通学路安全対策連絡協議会の組織を生かし、学校、地域、関係機関等が連携し取り組んでいます。

令和2年度末の段階で、交通安全に関する危険箇所が各学校から295か所提出され、全て合同点検を行い、横断歩道の設置、カラー舗装、路面標示等の対策を204か所に実施しました。本年度も、年度当初5月末までに各学校において通学路安全点検を行いました。さらに、千葉県八街市の交通事故を受け、改めて通学路点検を各学校で行い、7月末

その他の質問

☆実家の農業を継ぐ「親元就農者」の支援について
☆街路樹について
☆山地に設置している太陽光発電設備について

と8月に合同点検を実施しました。現在実施可能な対策から進めています。



小暮 博志 議員(政友みらい)
新型コロナウイルス
感染拡大への対応
について



Q 12歳以上65歳未満の方のワクチン接種率が、現在の65歳以上の接種率くらいになるのはいつ頃になると考えているか伺いたい。

A 市長

今後、希望される方にワクチン接種を積極的に受けていただけるよう、イオンタウン佐野にモデルナ社ワクチン接種会場を新設し、9月末から1か月に8,800回のワクチン接種の実施を予定しています。また、若年層が受けやすいように、夜間や接種日を増やすなど接種体制を整えていきます。そして、ワクチン接種を希望される方については、11月末までに終了できるように、佐野市医師会、佐野歯科医師会、佐野市薬剤師会のご協力をいただき、ワクチン接種を進めていきます。

その他の質問

☆人口減少の中での経済の状況について





慶野 常夫 議員(政友みらい)
第2期佐野市子ども
子育て支援事業計画
について



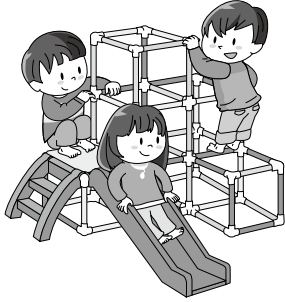
Q 子連れでも出かけやすく楽しめる場所の整備を検討し、実現してほしいと思うが、本市の考えを伺いたい。

A こども福祉部長

安全に安心して遊べる身近な公園の整備について、今後、所管部署と協議、調整を図っていきます。また、近隣市にあるキッズピアのような、天候に左右されることなく、屋内で楽しく過ごせるような施設については、保育、障がい、高齢者サービスなど幅広く福祉分野のサービスを提供している社会福祉法人が設置したもので、設置費用や運営費用に対しそれぞれの市が補助金等を拠出しているようです。本市には、このような施設はありませんので、今後そういった事例も調査研究していききたいと考えています。

その他の質問

☆防犯灯について
☆本市の都市公園について



横田 誠 議員(新風)
ヤングケアラーに
ついて



Q ヤングケアラー支援の充実に向けて、今後の課題や支援体制について見解を伺いたい。

A こども福祉部長

早期発見が必要であり、子供の変化に一番に気づくのは学校関係者であることから、子供たちへの周知、啓発及び実態把握を目的としたアンケートの早急な実施に向け、学校や関係機関と協議を行いたいと考えています。

A 市長

支援体制については、学校や教育センター、地域等から実情を把握し、ヤングケアラーを発見した場合は情報の集約及び子供のニーズを把握し、関係機関と情報を共有し、子供とその家族に必要な社会資源につながるためのソーシャルワークを行い、重度の問題行動が見られる場合、児童相談所の児童福祉司や心理士等による面談及び適切な医療へつなぐなど、個々の段階に応じて丁寧な支援ができる体制づくりをしていきます。

その他の質問

☆複式学級について

令和3年第5回定例会(9月定例会) 審議された議案等と結果

第5回定例会(9月定例会)は、9月3日(金)から9月27日(月)の25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。令和2年度決算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号等	件名【内容】	議決結果等
報告第 7号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【令和3年度の事業計画及び予算並びに令和2年度の決算】	報 告 一
報告第 8号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について【令和3年度の事業計画及び予算並びに令和2年度の決算】	報 告 一
報告第 9号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について【令和3年度の事業計画及び予算並びに令和2年度の決算】	報 告 一

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
報告第10号	継続費精算報告書の提出について【田沼西地区小中一貫校整備事業】	報 告	—
報告第11号	令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率について【令和2年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報 告	—
報告第12号	市長の専決処分事項の報告について【令和3年7月9日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦について【加藤 ^{かとう} 清 ^{きよし} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第61号	人権擁護委員候補者の推薦について【山崎 ^{やまざき} 光子 ^{みつこ} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について【藤田 ^{ふじた} 睦 ^{むつみ} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦について【東 ^{あずま} 好章 ^{こうしょう} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第64号	佐野市個人情報保護条例の改正について【デジタル庁設置法の制定及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第65号	佐野市税条例の改正について【地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第66号	佐野市育英基金条例の改正について【佐野市育英基金に奨学金の返還金を積み立てることができるようにし、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第67号	佐野市森林環境譲与税活用基金条例の改正について【公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第68号	消防ポンプ自動車の取得について【消防ポンプ自動車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第76号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第5号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ120,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第77号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第6号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,336,378千円を追加、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第78号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ213,430千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第79号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ341千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第80号	令和3年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ118,040千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第81号	令和3年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,698千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第82号	令和3年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)【収益的収入の予定額に1,629千円を追加、たな卸資産購入限度額を53,924千円に変更】	原案可決	賛成全員
議案第83号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第7号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ120,907千円を追加】	原案可決	賛成全員
陳情第1号	国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求めることに関する陳情(14ページに記載)	不採択	賛成少数 (退席1名)
意見書案第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について(14、15ページに記載)	原案可決	賛成全員

賛否が分かれた議案等

陳情番号	件名	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
陳情第1号	国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求めることに関する陳情	5	17	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	議長	×	×	×	×	

※○=賛成、×=反対

※山菅直己議長は採決に加わりません。

陳情の審議結果

陳情第1号

国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求めることに関する陳情

▼陳情人

日本国民救援会栃木県佐野支部 支部長 てらおか つねあき 寺岡 恒明

▼陳情の要旨

下記を内容とする意見書を採択し、国へ提出していただきたく陳情いたします。

- (1) 再審における検察手持ち証拠の全面開示
- (2) 再審開始決定に対する検察官の不服申し立て(上訴)の禁止

▼審議結果

総務常任委員会に付託され、同委員会において賛成少数で不採択となりました。本会議においても、賛成少数で不採択となりました。



▲全文は、こちらからご覧になれます。

意見書案の審議結果

意見書案第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

(提出者)小暮博志議員、(賛成者)飯田昌弘議員、春山敏明議員、木村久雄議員、鶴見義明議員、金子保利議員によりコロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成全員で可決されました。意見書は、佐野市議会として衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣に提出しました。



▲全文は、こちらからご覧になれます。

意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療・介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増す^{ぞう}する財政需要に見合う財源が求められます。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれます。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望します。

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものです。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設し、又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和3年9月28日
佐野市議会

令和3年12月定例会日程(案)

新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。令和3年12月定例会の日程は、11月26日(金)の議会運営委員会で内定し、12月3日(金)の本会議で決定します。

11/22日(月)	23日(火・祝)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)
		請願、陳情 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
29日(月)	30日(火)	12/1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)	11日(土)	12日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

議会での

新型コロナウイルス感染症対策として 二酸化炭素濃度計を設置しました

令和3年9月定例会では、これまで行ってきた説明員の入れ替え、換気、非接触式検温カメラでの検温、消毒、アクリルパーテーションの設置などに加え、二酸化炭素濃度計を議場と委員会室に設置して換気の見える化を図り、感染症対策を強化しました。

二酸化炭素濃度計 ▶



9月定例会は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の中、感染対策を講じながら開催されました。今定例会の一般質問では、副議長・議会運営委員会委員長・議員選出の監査委員も質問し、23名が登壇いたしました。また、令和2年度各会計の審査では、活発な質疑が行われました。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが付かない中ではありますが、市民の皆様におかれましては、これから寒い時期になりますのでご自愛ください。

(木村記)

編集後記

【編集委員会】
委員長 鈴木 靖宏
委員 慶野 常夫
委員 木村 久雄
委員 横井 帝之
委員 久保 貴洋



佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 [佐野市議会](#) 議会からこんにちは 2021.11.1 ⑩

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp